

文学部ディプロマポリシー<2026年度以降入学者>

	大学共通	文学部 英語英米文学科	文学部 日本文学科	文学部 国際文化学科	文学部 現代社会学科
人材育成方針	<p>成蹊大学は「理念・目的」を踏まえ、以下の人材育成方針のもとに教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 広い教養と深い(各学科、各専攻の)専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。 2 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。 3 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。 4 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 自国の文化及び異文化を相対化して読み解く力を養成する。このために、英語及び英語圏の文化・芸術・思想を学ぶことを通じ、ことばに対する鋭敏な感覚と高度な理解力を涵養する。 2 英語圏の言語・社会・文化・歴史・芸術・思想に関する幅広い理解を背景に、英語圏に限らず広く現代の社会が抱える様々な問題について多角的・批判的に検討する思考力を持ち、他者との協働によって自分の考えを深め、そしてそれを発信する自発性・自律性ある人材を養成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本語学及び日本文学を学ぶことによってはじめて可能となる高度で柔軟な日本語運用力を身につけるとともに、日本人や日本文化についての幅広く体系的な教養と深い理解を獲得し、それらを社会生活において有効に活用しつつ、次の時代に受け渡すことのできる人材を養成する。 2 多様な国際社会の中で、自らの文化的特性に立脚しつつ自律的に行動できる基礎的な判断力及び自らの思いを積極的に伝えることのできる豊かな表現力を備えた人材を養成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 歴史・地域文化研究、文化人類学及び国際関係研究にまたがる専門科目を学びつつ、世界に関する広い知見と深い教養を修得させるとともに、情報収集・分析能力、さらには国内外で通用するコミュニケーション能力を育てる。歴史と文化を視座としながら、世界を時空的な広がりの中で理解し、グローバル化のなかで複雑さを増す現代、さらには未来と向き合う柔軟な力を涵養する。 2 世界や社会が直面する諸課題に柔軟に対処でき、かつ、異文化理解の実践を通じて文化間の架け橋となりうる自律的な人材を養成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通じて社会を理解するための基本的枠組みを修得させるとともに、少人数による演習を通じて、自らの課題を設定できる「問題発見力」を養い、過去から現在に至る資料を調査できる「リサーチ力」を高め、街に出ることで「社会実践」から学び、他者に対して説得的に表現する「アカデミックスキル」を身につける。 2 1に規定する教育を通じて、現代社会の抱える諸問題をその背景にまで遡って多角的に検討できる思考力ならびに状況に的確に対応できる判断力及び行動力を兼ね備えた人材を養成する。
DP	<p>成蹊大学は、「教育の目標(人材育成方針)」を踏まえ、次のように学位授与の方針を定めます。「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「多様な人々との協働」「表現力、発信力」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された各学科、各専攻の教育課程において、所定の単位を修得した者に対して所定の学位を授与します。</p>	<p>文学部英語英米文学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(文学)の学位を授与します。</p>	<p>文学部日本文学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(文学)の学位を授与します。</p>	<p>文学部国際文化学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(文学)の学位を授与します。</p>	<p>文学部現代社会学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(文学)の学位を授与します。</p>

	大学共通	文学部 英語英米文学科	文学部 日本文学科	文学部 国際文化学科	文学部 現代社会学科
DP1	<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1) (各学科、各専攻の) 専門分野に関する知識・技能を修得している。</p>	<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 英語英米文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。</p> <p>(DP1-2) 文化的他者とのコミュニケーションにおいて基礎的な技能となる英語力を修得している。また、そのために必要な言語・社会・文化・歴史・芸術・思想に関する専門的な知識の中から個人の関心に応じて必要なものを修得している。</p> <p>(DP1-3) 言語学の基礎的な概念及び理論を修得し、言語学の方法論を用いて英語や他言語の仕組みを分析し理解することができる。</p> <p>(DP1-4) 英語圏文学・文化の成り立ちを理解し、個々の作品や事象について専門的見地から分析し理解することができる。</p> <p>(DP1-5) 第一・第二外国語習得論や語用論等、英語教育に必要な実践的知識や技能を修得している。</p> <p>(DP1-6) 主要な英語圏の芸術・思想について熟知し、それらについて専門的見地から分析し理解することができる。</p>	<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 日本文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。</p> <p>(DP1-2) 日本語学研究における基本的な知識と研究方法を修得している。</p> <p>(DP1-3) 日本文学研究における基本的な知識と研究方法を修得している。</p> <p>(DP1-4) 日本人及び日本文化についての幅広く体系的な知識を修得している。</p>	<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 国際文化学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。</p> <p>(DP1-2) 日本を含む世界における歴史的事象についての認識と解釈、現代世界の動きの理解と諸課題への対処、異文化理解の実践に関する基本的な知識・技能を身に付け、個人の関心テーマに応じた形でさらに専門的に修得している。</p> <p>(DP1-3) 日本を含む世界における歴史と文化についての基本的な知識と研究方法を修得し、これを用いて自他の歴史・文化を多角的に理解することができる。</p> <p>(DP1-4) 文化人類学の基本的な理論、概念、及び方法論として重要なフィールドワークの手法を修得し、自ら課題発見をして異文化理解と異文化間コミュニケーションに応用することができる。</p> <p>(DP1-5) 国際関係研究の基本的な諸概念や理論枠組みを把握し、それらを用いて世界情勢の主要問題を分析することができる。</p>	<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 現代社会学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。</p> <p>(DP1-2) 社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通じて、現代社会の抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力、ならびに、状況に的確に対応できる判断力・行動力を修得している。</p> <p>(DP1-3) 社会学の理論及び実証的研究法を、「社会学基礎」「社会学発展」の科目群を通じて体系的に学ぶことで、現代社会を理解するための基本的枠組みを修得している。</p> <p>(DP1-4) メディア研究の理論及び実証的研究法を、「メディア研究基礎」「メディア研究発展」の科目群を通じて体系的に学ぶことで、現代社会を理解するための基本的枠組みを修得している。</p>
DP2	<p>【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。</p>	<p>【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。</p> <p>(DP2-2) 英語及び英語圏の文化・芸術・思想に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>	<p>【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。</p> <p>(DP2-2) 日本語及び日本文学に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>	<p>【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。</p> <p>(DP2-2) 日本を含む世界の諸文化や諸課題に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>	<p>【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。</p> <p>(DP2-2) 現代社会が抱える諸問題に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じてさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>

	大学共通	文学部 英語英米文学科	文学部 日本文学科	文学部 国際文化学科	文学部 現代社会学科
DP3	<p>【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p>	<p>【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p> <p>(DP3-2) 言語及び英語教育に関する課題の本質を発見するために、文献にあたり、課題解決に必要なデータなどを収集し、得られた情報を論理的に分析及び考察することができる。</p> <p>(DP3-3) 英語圏文化・芸術・思想に関わる課題の本質を発見するために、関連文献を調査収集し、作品や事象を的確に解釈・分析して、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p>	<p>【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p> <p>(DP3-2) 書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要ときに必要な情報を入手することができる。</p> <p>(DP3-3) 日本語学あるいは日本文学の諸問題に関して、過去の文献等も含む様々な資料から幅広く情報を調査収集し、それらを分析しつつ、的確にかつ論理的な考察を行うことができる。</p>	<p>【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p> <p>(DP3-2) 書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要ときに必要な情報を入手することができる。</p> <p>(DP3-3) 日本を含む世界の諸文化や諸課題に関し、時間的及び空間的に幅広いデータを調査収集し、それらを分析しつつ、的確な解釈を行うことができる。</p>	<p>【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。</p> <p>(DP3-2) 書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要ときに必要な情報を入手することができる。</p> <p>(DP3-3) 社会学及びメディア研究の理論及び実証的研究法を通じて、社会を理解するための基本的枠組みを修得することで、現代社会が抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力、ならびに、状況に的確に対応できる判断力・行動力を兼ね備えている。また、各年次に配当された必修の演習を通じて、批判的・論理的思考力、課題探究・問題解決能力を身に付けている。</p>

	大学共通	文学部 英語英米文学科	文学部 日本文学科	文学部 国際文化学科	文学部 現代社会学科
DP4	<p>【表現力、発信力】 (DP4) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p> <p>(DP4-2) 学術的テーマについての分析、考察、結論づけを少人数制の演習(セミナー)での発表やレポート・卒業論文の作成を通じて、他者にわかるように論理的に伝えることができる。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ味わい深く発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p> <p>(DP4-2) 日本語学及び日本文学に関する、一般の人にわかりやすく説明できる。</p> <p>(DP4-3) 日本語学及び日本文学に関する分析を、わかりやすく文章や図表にまとめることができる。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p> <p>(DP4-2) 日本を含む世界の国・地域・文化の状況、それらの歴史的形成や相互関係について、広く社会に発信する力を身につけている。</p> <p>(DP4-3) 日本を含む世界の諸文化や諸課題に関する理論的、実証的な分析を、わかりやすく文章や図表にまとめることができる。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。</p> <p>(DP4-2) 現代社会が抱える諸問題に関し、各年次に配当された必修の演習及び卒業論文の作成を通じて、みずからの考えを的確に表現・発信できるコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身につけている。</p>
DP5	<p>【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>	<p>【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>	<p>【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>	<p>【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>	<p>【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>
DP6	<p>【自発性、積極性】 (DP6) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>	<p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>	<p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>	<p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>	<p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>